18 この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり４本

試読・購読はこちらから

2020年9月6日号　　編集／毎日新聞社販売局D.クリエーションセンター

東日本大震災10年へ　教訓はどこに　11日（金）＝特集面

東日本大震災は11日、発生から９年半を迎えます。新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化してから初の節目です。震災直後、大きくは注目されなかった「避難所での感染症」に着目し、被災地の岩手、宮城、福島の３県でインフルエンザやノロウイルスの集団感染が起きた事例を検証しました。当時、避難所で感染拡大防止に携わった専門家から教訓も聞きました。

全国の自治体にコロナの感染拡大に伴い地域防災計画の見直しなど対策を講じたかもアンケートしており、その結果も掲載します。

【写真説明】九州豪雨を受け、段ボールベッドを配置した熊本県人吉市の避難所＝２０２０年７月10日撮影（避難所・避難生活学会の水谷嘉浩理事提供）

特集ワイド　万葉学者・上野誠さんに聞く「墓じまい」　7日（月）＝夕刊特集ワイド

核家族化や少子化が進むにつれて、墓を維持するのも難しくなっています。奈良大教授の上野誠さん（60）＝**写真**＝は、先祖代々の大きな墓をしまい、故郷・福岡で独居していた母親を呼び寄せて介護し、最期をみとるまでの経験をエッセー「万葉学者、墓をしまい母を送る」につづり、今年の日本エッセイスト・クラブ賞を受賞しました。その上野さんに、後悔しない「しまい方」のヒントを聞きます。

論点　安倍政権とは何だったのか　11日（金）＝オピニオン面

歴代最長政権を担った安倍晋三首相。７年８カ月の間、内に向けては「アベノミクス」「一億総活躍社会」などを掲げ、外に向けては「地球儀をふかんする外交」の旗を振ってきました。ただし、何を残したかもう一つ判然としません。独特の立ち位置のジャーナリスト、田原総一朗氏、そして自民党の長老に安倍政権の功罪と、ポスト安倍について問います。

【写真説明】辞任を表明する安倍晋三首相を映し出す大型ビジョン＝東京都新宿区で２０２０年８月28日、宮間俊樹撮影

？「愛の不時着」本当はどうなの？ 12の疑問を検証した　11・12日（金・土）＝くらしナビ面

北朝鮮将校と韓国財閥令嬢の恋――。この夏、動画配信大手ネットフリックスが放映した韓国ドラマ「愛の不時着」にくぎ付けになった人は多いでしょう。でも、本当の北朝鮮はどうなっているのでしょうか？　韓国を代表する２大スターの競演にはまってしまった記者が、元NHK記者で北朝鮮を何度も訪れたことのある桜美林大の塚本壮一教授（55）に、気になる12の疑問をぶつけてみました。

竹橋の窓辺から　編集後記

近年、忙しさを理由にさぼってきたラジオ体操。今春の在宅勤務をきっかけにその習慣を復活させました。

過去にはフルマラソン完走の経験もありますが体力の低下に愕然。しばらく続けると走力は以前のレベルに戻り、継続することの重要性を痛感しました。継続が大事なのはこの「記事すごⅰ」も同様。少しでも毎日新聞に興味を持って頂きたい。その一心で今週も来週も「記事すごⅰ」をお届けします。（中本慎二）

※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。